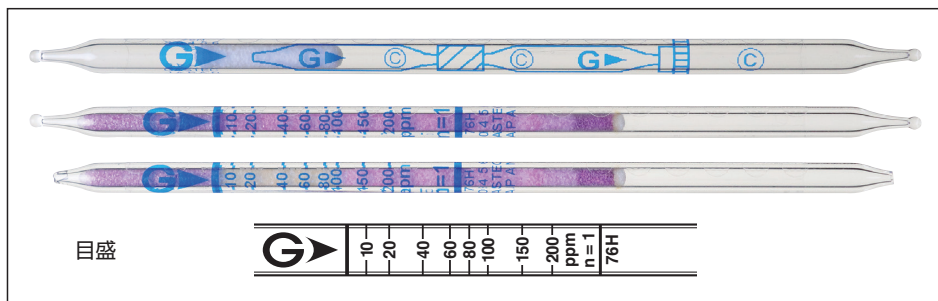


テトラヒドロチオフェン C₄H₈S

No.76H

Tetrahydrothiophene



仕様

都市ガス中のテトラヒドロチオフェンを測定可能。
直射日光（紫外線）に1時間以上放置すると検知剤が白色に変色し測定できない。

測定範囲	10 ~ 200 ppm
吸引回数	1回(基準) (100mL)
係数	1
測定所要時間	1分

検知限度： 2 ppm (1回吸引)

変色： 桃色 → 淡黄色

温・湿度補正： 温度

有効期間： 24 か月

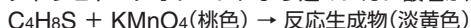
変動係数：

G	CV=10%	CV=5%
	目盛範囲の1/3	目盛範囲の2/3

(CV：変動係数 = σ : 標準偏差 ÷ 平均値 × 100)

反応原理

テトラヒドロチオフェンにより過マンガン酸塩が還元され淡黄色を呈する。



干渉ガス

ガス名	共存濃度	干渉	単独の場合
エチルメルカプタン	3ppm以下	影響しない	全層淡桃色に変色
エチレン	5000ppm以下	影響しない	全層淡桃色に変色
プロピレン	2000ppm以下	影響しない	全層淡桃色に変色
メタノール	2000ppm以下	影響しない	全層淡桃色に変色
硫化水素	300ppm以下	影響しない	全層淡桃色に変色

校正用ガス

ガス拡散管法